令和８年 夢つくし栽培ごよみ

JA筑紫営農センター	(924-1313)
物流センター	(923-8221)
西部グリーン店	(952-2971)
中部グリーン店	(501-0036)
福岡普及指導センター	(806-3400)

良質米の生産は基本技術の励行から！

生産履歴は必ず記帳しよう！

5月25日植

月・旬	5月 下	6月 上	6月 中	6月 下	7月 上	7月 中	7月 下	8月 上	8月 中	8月 下	9月 上	9月 中	9月 下
作業日													

稲の生育と主な作業

- 5月25日植
- 田植　植付本数3～4本
- 除草剤散布
- 浅水たん水
- 浅水　間断灌水
- 有効分げつ限定期
- ○中干しは、田植後35日前後より開始する。
- 中干し
- ○葉色を十分落とす。
- 穂肥（出穂22～20日前）
- ○幼穂長2～3ミリ
- 間断灌水
- 出穂期
- 花水
- 間断灌水
- 落水（収穫予定5日前）
- 成熟期
- 収穫（出穂から35日前後）
- 年内にわらの鋤込みを実施しましょう。稲わら、麦わらは良質な有機質！

品種特性

出穂期	成熟期	稈　長	㎡当り穂数	耐　倒伏　性	いもち耐病性
8月8日頃	9月12日頃	76cm	372本	中	弱

病害虫防除

粉剤体系:
- スクラム（紋枯病あり）（50g/箱）田植3日前～当日に施用　いもち病・紋枯病・ウンカ類・イネミズゾウムシ・コブノメイガ
- ※注　灌水を行う。やかな吸収を促すため、適切な基準使用量を厳守し、イネへの面に撒きムラがないように育苗箱全体に散布後は、すみやかに
- （「病害虫一覧」を参考に防除薬剤を選択する）
- （補正）コラトップジャンボP　出穂の2～3週間前に投げ込み。穂いもちの常発地は、
- ビームモンセレンスタークル粉剤5DL　4kg　紋枯病　ウンカ・カメムシ・いもち病
- （補正）エクシード粉剤DL　3kg　秋ウンカ・カメムシ

粒剤:
- いもち病　コラトップ1kg粒剤12
- 紋枯病　オリブライト250g
- いもち病・紋枯病・ウンカ・カメムシ　ゴウケツモンスター粒剤3kg
- 秋ウンカ・カメムシ　スタークル粒剤3kg

液剤:
- （病害虫に応じて薬剤を選択する）
- いもち病　ブラシンフロアブル　1000倍
- 紋枯病　モンセレンフロアブル　1500倍
- ウンカ類・カメムシ類（どちらか選択）スタークル液剤10　1000倍／エクシードフロアブル　2000倍
- コブノメイガ　パダンSG水溶剤　1500倍／ロムダンゾル　1000倍

いもち病対策

（育苗について）
①種子消毒を徹底する。
②籾に発生した胞子の飛散防止のため覆土を完全にする。
③過繁茂、軟弱苗にならないよう注意する。
（移植以降）
①箱施薬（基準量50g／箱）を確実に育苗箱に入れる。
②多肥栽培にならないよう注意する。
③葉いもちが発生したら早急に防除する。
（防除は早いほど効果が高くなる。）
④穂いもちは収量に直接影響するので予防防除が重要。
（基幹防除は必ず行う）

6月10日植

月・旬	6月 上	6月 中	6月 下	7月 上	7月 中	7月 下	8月 上	8月 中	8月 下	9月 上	9月 中	9月 下	10月 上	10月 中	10月 下
作業日															

稲の生育と主な作業

- 6月10日植
- 田植　植付本数3～4本
- 除草剤散布
- 麦わらすき込み田はガス抜きのため一時落水
- 浅水たん水
- 浅水　間断灌水
- 有効分げつ限定期
- ○中干しは、田植後35日前後より開始する。
- 中干し
- ○葉色を十分落とす。
- 穂肥（出穂22～20日前）
- ○幼穂長2～3ミリ
- 間断灌水
- 出穂期
- 花水
- 間断灌水
- 落水（収穫予定5日前）
- 成熟期
- 収穫（出穂から36日前後）
- 年内にわらの鋤込みを実施しましょう。稲わら、麦わらは良質な有機質！

品種特性

出穂期	成熟期	稈　長
8月8日頃	9月12日頃	76cm
㎡当り穂数	耐　倒伏　性	いもち耐病性
372本	中	弱

病害虫防除

粉剤体系:
- スクラム（紋枯病あり）（50g/箱）田植3日前～当日に施用　いもち病・紋枯病・ウンカ類・イネミズゾウムシ・コブノメイガ
- ※注　灌水を行う。やかな吸収を促すため、適切な基準使用量を厳守し、イネへの面に撒きムラがないように育苗箱全体に散布後は、すみやかに
- （「病害虫一覧」を参考に防除薬剤を選択する）
- （補正）コラトップジャンボP　出穂の2～3週間前に投げ込み。穂いもちの常発地は、
- ビームモンセレンスタークル粉剤5DL　4kg　紋枯病　ウンカ・カメムシ・いもち病
- （補正）エクシード粉剤DL　3kg　秋ウンカ・カメムシ

粒剤:
- いもち病　コラトップ1kg粒剤12
- 紋枯病　オリブライト250g
- いもち病・紋枯病・ウンカ・カメムシ　ゴウケツモンスター粒剤3kg
- 秋ウンカ・カメムシ　スタークル粒剤3kg

液剤:
- （病害虫に応じて薬剤を選択する）
- いもち病　ブラシンフロアブル　1000倍
- 紋枯病　モンセレンフロアブル　1500倍
- ウンカ類・カメムシ類（どちらか選択）スタークル液剤10　1000倍／エクシードフロアブル　2000倍
- コブノメイガ　パダンSG水溶剤　1500倍／ロムダンゾル　1000倍

施肥

（kg／10a）

	肥　料　名	施肥量
土壌改良材	セルカオイスターミネラル	100
	ミネラルG・珪鉄	200
	けい酸加里	40

◎穂肥をしない施肥体系（緩効性肥料）（kg／10a）

肥　料　名		施肥量	成分量 N	P	K
基肥	リンスター30	30		9	
	夢つくし有機一発	50～55	9	4.5	5

※いもち病の多発圃場では45kg/10aで使用して下さい。

◎基肥＋穂肥の施肥体系（kg／10a）

肥　料　名		施肥量	成分量 N	P	K
基肥	リンスター30	30		9	
	レコアップ055	55	5.5	2.7	2.7
穂肥	スーパーユーキくん3号	25	2.5	0.7	2.0

※レンゲ後の施肥量については、レンゲの生育量や鋤き込み時期により基肥を加減する。
なたね粕で穂肥を行う場合は、出穂前27～25日前に45kgを施用する。

○適用害虫と使用方法(ジャンボタニシ)

薬剤名	使用時期	使用量	本剤の使用回数
スクミノン	収穫60日前まで	1～4kg	あわせて2回以内
ジャンボたにしくん	収穫60日前まで	1～2kg	

土づくり

・稲わらは水田に全量還元する。
・土壌改良材の施用…毎年10a当りミネラルGか珪鉄を200kg散布もしくは、セルカオイスターミネラル100kgを散布する。
・基肥に家畜糞尿の醗酵堆積物を使用する場合は、10a当り牛糞堆肥2トンを春先までに施用する。また発酵鶏糞を使用する場合は、150kgを田植2週間前までに施用して、基肥の施用量は基準の½程度とする。

育苗

1．資材の準備

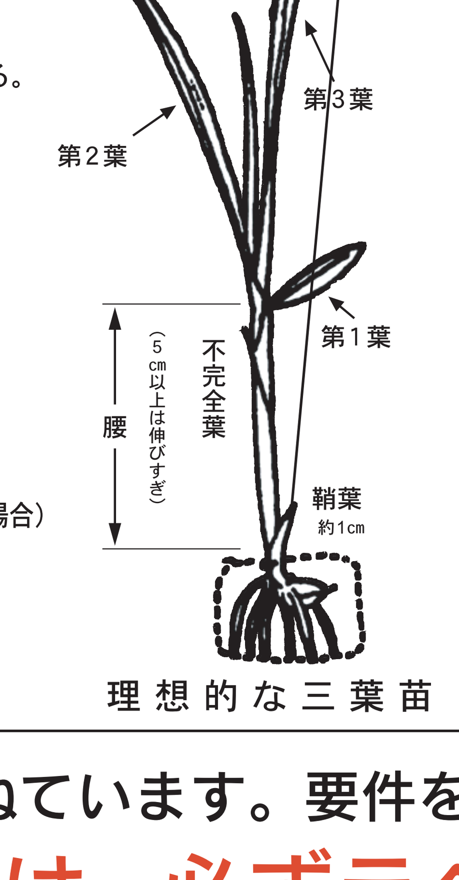
○種子：10a当り3.5kg
○培土
　1箱当り
　床土は2.5kg
　覆土は1.0kg
○山土を使用する場合は、焼籾がら又は培土を容量の3割混合する。
○施肥　育苗肥料4・4・4
　山土を使用する場合は、育苗肥料4・4・4（1kg）を50箱分の土に使用する。

2．種子消毒

○水20ℓにテクリードCフロアブル100mℓを溶かし24時間浸漬させる。
（割合は1：2とする）
（例：種子10kgに対し薬剤20ℓ）
又は、温湯60℃に10分間浸漬後、水で十分に冷却し浸種を行う。

播種前後の管理

播種日数	月/日	時期	
−7		播種準備	○種子消毒（薬剤 又は温湯）を行なう。○浸種は積算温度100℃を目標に、水温20℃で5日間、程度行う。また、水は1日1回入れ替える。
−6			
−5			
−4			
−3			
−2			
−1			○種子を水からあげて陰干しし、確実に芽出しさせる（ハト胸～1ミリ）
0		播種	○播種前に床土に十分にかん水し、次に苗立枯病予防のため、タチガレン液剤100mℓを水100ℓ（100箱分）に溶かしかん注する。（1箱当り1ℓ）◎1箱当りの播種量は催芽籾で150g（1.3合）を基準とし、出来るだけ「うす播き」をする。
1		出芽・緑化期	○育苗箱は日当りの良く風通しのよい均平な場所にビニールを敷き、その上にリン木を敷いた上にならべる。
2			
3			○カビが発生したらダコレート水和剤100gを水50ℓに溶かし、かん注する。（100箱）（1箱当り500cc）
4			
5			○苗いもちの発生が予想される時は、ビームゾルをかん注する。（150倍液）（1箱当り500cc）
6			○被覆期間は7日程度とし苗の腰の高さが4～5cm位になったらラブシートを除去する。
7			
8			○かん水は床土の表面が乾いたら十分行う。夕方のかん水は出来るだけさける。
9		硬化期	
10			
11			
12			
13			○バカ苗病が発生したら直ちに抜き取る。
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			○弁当肥の施用（田植前5日頃）硫安250gを水50ℓ（100箱分）に溶かしかん注する。（田植えが予定より遅くなり苗が老化する場合）
21			
22			
23			
24		移植	
25			
26			



理想的な三葉苗

除草

農薬使用時は必ず別紙の「水稲農薬一覧」を確認

◎本田除草剤

剤	除草剤名	使用時期	使用法（10a当り）		使用上の注意
粒剤	クサトッタ粒剤	移植直後～ノビエ2.5葉期	3kg	湛水	・軟弱苗には使用しないこと。
粒剤	キマリテ1キロ粒剤	移植後5日～ノビエ3.0葉期	1kg	湛水	・薬害発生が懸念される為、移植5日以降からの使用を推奨。・1年生及び多年草の幅広い雑草に有効。・雑草を白化させて枯らす。
粒剤	エンペラー1キロ粒剤	移植時～ノビエ3.0葉期	1kg	田植同時湛水	・田植時同時散布機で施用できる。・ノビエやコナギ等の抵抗性雑草が発生する水田。
パック剤	エンペラージャンボ	移植後3日～ノビエ3.0葉期	10パック（250g）	湛水	・各種多年性雑草やノビエ等が全面的に発生する水田。・ホタルイやコナギ等の抵抗性雑草が発生する水田。・10パックを水田に均等に投げ込む。
液剤	エンペラーフロアブル	移植後3日～ノビエ3.0葉期	500mℓ	湛水	・各種多年性雑草やノビエ等が全面的に発生する水田。・ホタルイやコナギ等の抵抗性雑草が発生する水田。

※田面が露出しないようにして散布し、散布後1週間は落水しない事。

◎中後期除草剤

対象田	除草剤名	使用時期	使用量（10a当り）	使用上の注意
広葉雑草 コナギ・ウリカワ等	バサグラン粒剤	移植後15日～収穫45日前まで	3～4kg	・10a当りの散布量を守り均一に散布する。・散布1～2日前に落水し、足かた水くらいで散布する。・散布後3日間は水を入れないこと。
ノビエ・広葉雑草 コナギ・ウリカワ等	ワイドパワー粒剤	移植後20日～ノビエ5葉期 但し、収穫45日前まで	3kg	・液剤は、動力噴射機での散布は薬害が生じやすいので、肩掛け散布器などでスポット処理をすることが望ましい。又高温条件での散布は薬害が生じることがあるので、散布後に高温が予想される場合は、夕方に散布する。
	ワイドアタックSC	移植後20日～ノビエ6葉期 但し、収穫30日前まで	100mℓ	

●農薬（毒物・劇物）の購入には、印鑑が必要です。

令和8年1月末現在

この栽培ごよみはJA米の生産基準を兼ねています。要件を満たさない米穀は区分してJAに出荷しましょう。

●農薬を使用する際は、必ずラベルの確認をしましょう●